

ツミ

学名	Accipiter gularis (Temminck & Schlegel, 1844)	
目名	タカ目	
目名学名	FALCONIFORMES	
科名	タカ科	
科名学名	Accipitridae	
カテゴリー	大分県：Ⅱ (VU)	環境省：掲載なし



【選定理由】

森林開発などにより生息環境が悪化している。県内での繁殖期の記録は少なく、冬の観察頻度も減少している。

県内分布	平地から山地の林に希にみられる留鳥。
分布域	亜種ツミ(A. g. gularis)は、北海道、本州、四国、九州の平地から亜高山の森林地帯に留鳥。奄美諸島以南では冬鳥。南西諸島では別亜種リュウキュウツミ(A. g. iwasakii)が留鳥。
世界的分布	朝鮮半島、中国東北部で繁殖、中国南部、東南アジアで越冬。
生息環境	平地から亜高山の森林に生息し、小型の鳥類やネズミ、トカゲ、昆虫などの小動物を捕食する。
現状	繁殖期の個体数は数十羽程度と推定される。
備考	環境省レッドリストは、亜種リュウキュウツミ(A. g. iwasakii)は準、大分に生息する亜種ツミは、掲載なし。種ツミはワシントン条約附属書Ⅱ